

(学年) 第2学年、(教科・科目) 保健体育・保健

協同学習

(単元) 妊娠・出産と健康

(本時のねらい)

受精・妊娠・出産に関する知識について理解するとともに、妊娠・出産に伴う課題の解決のために、周囲の人々の支援や配慮、公的サービスの活用が必要であることを理解し、意欲的に話し合いに取り組むことができる。

(ICT活用方法)

まとめにおいて授業支援クラウドアプリを使用する。従来では口頭のみで発表していた意見などを、スライドによって可視化することで意見の共有を行いやすくする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれ、前回のアンケートの結果を確認する。 		
展開 35分	<p>①受精と妊娠</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産の過程について、プリントに記入する。 発問①について、グループで話し合う。 <p>②妊娠の経過と胎児の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の出生時の身長や体重を記入する。 発問②について、グループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産の過程について、プリントの問題や図を使用して説明する。 <p>【発問①】 妊娠したことによって、母体にはどのような変化が起こるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問①についての生徒の意見を発表させ、母体の変化について説明する。 自分の出生時の体格と現在の平均を比較させる。 胎児の成長の過程について説明する。 <p>【発問②】 母体の心身の健康状態を良好に保つために、どのようなことに注意すればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問②についての生徒の意 	

	<p>③出産と母体の回復</p> <p>④公的サービスの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳に記録できる事について話し合い、整理する。 ・活用できる公的サービスについてまとめる。 <p>⑤生活上の注意と周囲の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問③について、グループで話し合う。授業支援クラウドアプリを使用し、グループでの意見をまとめる。 	<p>見を発表させ、母体の健康状態を保つための注意点について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣痛から始まる、出産の始まりと終わりについて説明する。 ・妊娠が発覚してからのとるべき行動や行政や地域が行う公的サービスについて説明する。 ・母子手帳に記録できる事について、グループ内で話し合いながら、実物の母子健康手帳を見せる。 <p>・妊娠中の女性への配慮や、マタニティーブルーなどの出産後の女性になりやすい状態について説明する。</p> <p>【発問③】 自分のパートナーや周囲の妊娠中・出産後の女性に対する配慮として、身近なことでどのようなことができるだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリを使用しグループで話し合った意見をまとめ、発表用のスライドを作成する。
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ ・次時予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめとして、発問③についての意見をグループごとに発表させ、配慮すべき事についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリで作成したスライドを使用し、各グループが意見を発表する。

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

活動内容を盛り込みすぎたことでグループでの話し合いの時間が少なくなっていました。もう少し内容を絞り、他の人の意見を聞く時間を増やせばよかったです。ICT を使用するポイントとして、受精のメカニズムや胎児の成長の過程を示したスライドや動画を見せてもよかったですと感じた。